

# NPO まんま ニュース No.53

2025年1月30日(日) 2024年度 後半の活動報告  
特定非営利活動法人 NPO まんま 代表：白水洋子  
〒441-8108 事務所：豊橋市町畑町宇森田 45-23  
電話&Fax：0532-48-1203 (まちかどステーション・南栄)

公式 HP



## <NPO まんま活動方針>

子育てを社会全体で！生涯学習・人と人とのつながりを介して、子育ての“環境・ネットワーク”づくりに関する事業を行い、「子育てが楽しくなるまちづくり」をめざすことを目的とし、より幅広い子育て支援活動を行います。



## ♡ みんなで子育て ♡

子どもの笑顔を大切に、パパママ、おじいちゃんおばあちゃん、地域の人々が一緒になって明るく元気に過ごせることを願っています。

## 「令和7年 年の初めに」

特定非営利活動法人 NPO まんま 代表  
白水 洋子



皆さま、今年をどんな風にお迎えになられましたか。能登の方では未だに落ち着かない生活をされている人々が多くみえます。皆さまに幸あれと願わずにはられません。

2024年はNPO まんまは法人化して20年、家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」を始めて15年という節目の年でした。

ボランティア活動として長く継続する事ができたのは、多くの方々のご尽力と私達を支えて下さる皆さまのご協力に他なりません。改めて感謝の思いを伝えさせていただきます。『ありがとうございます』

こうして長い間子育て支援に携わってきますと、様々な形で社会と連携する事が多くなってきます。昨年は思わぬところでお声かけを頂く事になりました。そのひとつ、今年1月4日、ウインク愛知で開催された「第13回日本公衆衛生看護学会学術集会」のシンポジウムで、発表の機会をいただきました。

「え～！学会！！」と全く縁のない場所での発表となり緊張の連続でしたが、本当に多くの方に支えて頂き、大切な仲間達に協力してもらい、無事にホームスタートの良さや温かさを全国の皆さまにお伝え出来たのではないかと思います。一人では折れてしまいそうな心を誰かと一緒にやる事で乗り越える事が出来るというのは、まさにホームスタートの支援と同じ「協働」の素晴らしさだと思います。子育ても誰かと一緒にするから頑張れるのだと思います。そんな「誰か」に私達がなっていけますように、本年も皆さまどうぞよろしくお願い致します。



8/18(日) NPO まんま 法人化20周年記念  
♪多世代 de 楽しむ ふれあいコンサート



1/4(土) 第13回 日本公衆衛生看護学会学術集会  
健康格差にどう向き合うかI  
～未来を創る社会環境づくり～ 会場：ウインクあいち

### ・・・目次・・・

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1P 代表 あいさつ                              | 4P・5P 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」   |
| 2P ♪多世代 de 楽しむふれあいコンサート<br>集まれ！ママとツイズたち | 6P まんまりズム de あそぼ            |
| 3P さくら・さくらんぼリズム講座                       | 7P はだし de まんま&豊橋男女共生フェスティバル |
|   | 8P 多世代交流ひろば「ありがたや」/ 会員募集    |

## ホームスタートと出会って

ホームビジター 野中 亜紀子

私がホームスタートを初めて知ったのは、当時小学6年の息子が学校で配られた養成講座の案内でした。

四十代になり、会社人生も、自分自身もちょうど折り返し。セカンドキャリアとか、ライフワークといったことを意識し始めた頃、自分自身の経験から「子育てしやすい世の中、地域社会」に漠然とした興味、思いがありました。そんな折、この養成講座の案内に書かれていた、ホームスタートの活動な内容や説明をみて、まさに「当時の自分にあればよかった！」と見える活動、何か一歩踏み出してみたい気持ちで居ても立っても居られなくなり、まんまの代表に早速問合せをしました。私は平日働いていて、基本土日しかできません。こんな私でも参加できるのか、不安だったのです。「できるとき、できる範囲で」と温かく迎えてくださいました。

子どもを含めた家族にも相談。もちろん、子どもの大会など家族の行事を大切にすることを約束し、温かく送り出してくれました。しつかり養成講座があることも、オーガナイザーさんを通しての訪問、という形も、はじめてのボランティア活動には心強いと思いました。

講座は平日でしたが、二十年勤続リフレッシュ休暇を使うことにしました。これが本当にリフレッシュで、年齢もバックグラウンドもキャリアも違う

方々との出会いに毎回刺激をもらいました。

私が訪問させてもらった利用者さんには、お父さんのお仕事は休日であり、こども園のない休日に、下のお子さん小さい中で、2人、3人のお子さんの育児と家事を一日中一人でがんばっている状況の方がいらつしました。子どもに楽しい休日を通してほしい、家事をする間、一緒に子どもを見てほしい、そんな気持ちに寄り添い、一緒に公園へ出かけたり、おうちのリビングで一緒にパズルをしたり、ぐずったときにあやしたり。たわいもない会話や、笑いながら愚痴を聞いたり。私は上手な子育てアドバイスや、地域情報もそんなに持ち合わせてはいないけれど目の前にいる利用者さんとお子さんと向き合うために、私の2時間を使う、というシンプルな気持ちで原点かな、感じていました。

はじめはどちらかというと、お母さんの支援という意識があったのですが、訪問を始めると、小さなお子さんの訪問期間に、その子なりの成長と一緒に感じられることが本当に楽しくて、言葉は悪いですが、他人の子なのに幸せを感じさせてもらっています。

相手を尊重する、というのは家族間でも同じ。ボランティア活動を通じて、私自身、多感な高校生の娘、中学生の息子との向き合い方も、学ばせてもらっている気がします。

こんな風に自分自身にとって、無理がなく、まさに自発的な気持ちで参加しています。



### <ホームビジターフォローアップ講座> 家庭を訪問するためのスキルを学びます！



7/11 「明照保育園 見学」  
中島章裕 理事長 / 中島美奈子 主幹



9/12 「多胎支援について」  
あいち多胎ネット代表 榊原綾子さん



10/1 「子どもの理解」朝河麻理さん



11/26 「ホームビジター交流会」